

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	アスクむさしうらわ保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	木越 由美子	定員(利用人数)：	60 (61) 名
所在地：	〒 336-0021 埼玉県さいたま市南区別所7-1-12	TEL	048-872-8107

③評価実施期間

平成28年8月30日(契約日)～平成29年3月31日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○保護者との様々なコミュニケーションを図り、保護者からの申し出による「親子で物作り」が始まり、保護者同士の交流も広がっている

定期的に運営委員会等を実施し、直接保護者からの意見を聞いたり質問を受ける場を多く設けている。公の場では言いづらいことについては年2回の個人面談やご意見箱の設置、第三者委員の周知に努めるなどの配慮をして意向などの把握に向けた工夫をしている。開園当初、顕著に見られた園外での運動会の開催、園庭に遊具を設置して欲しいなどの意見については園の考えを明確にし、保護者に丁寧に機会ある毎に説明することで理解を深めた。今年度の利用者調査においては「満足」との回答が昨年度の41%から59%に上昇し、「やや不満」が15%から6%に減少しており、「不満」との回答は0%となっている。保護者と様々なコミュニケーションを図る活動が成果を上げ、良好な関係作り・信頼感の醸成につながっている。

○職員はお互いに尊敬し合って、楽しく保育にあたっている

開設2年目の園で、ほとんどの職員と一緒に園をつくり上げてきたためか、職員のコミュニケーションが良好で、園長の下で結束して楽しく仕事にあたっている。常勤・非常勤職員を問わず話し合い、お互いの長所・短所を認め、他の人の意見を取り入れ、忠告し合い助け合っている。60人定員の1階施設のためか、職員間の連携が良く、担任だけでなく他クラスの職員みんなで子どもたちを見守り、全職員が子どもの情報を把握している。利用者調査の自由意見にも、職員が優しく仲が良く、質が高いとの感想が聞かれる。職員が楽しく働けることをモットーにしている法人の運営理念にも合致し、保護者の信頼を得ている。忌憚なく意見を述べ合える職員の育成の陰には園長の努力が窺える。

◇特にコメントを要する点

○ボランティアの成果を上げるため、具体的な計画や実行するための体制を決め、実際に取り組み成果を上げることが期待される

法人の基本姿勢や受入手順は「学生実習生・ボランティア受入」「ボランティア(職場体験)受け入れガイドライン」等で明確になっており、園長はボランティアの導入は必要と考えている。しかし、平成27年度の開設以降、実績は0人が続いている。今年度は保護者の有志による木工の独楽作りや玩具作りが園内で行われている。成果を上げるためには、どのような活動をボランティアに求めているのかを具体的に明確にし、保護者や関係者に公開して、実現するための具体的な計画や実行するための体制(誰が、何を、どのような方法で、何時までに等)を決め、実際に取り組み成果を上げることが期待される。

○施設の利用や玩具の安全性について、さらにきめ細かな確認も望まれる

園への出入りは車道から園庭に沿って通路を通り、門扉と園舎への入り口の扉には子どもが開閉できない高さにロックをしてはいるが、時間が重なる登降園以外の時間帯は通る人も少なく死角になりがちである。通路から出ると大型車が通行する車道で、車道に面した園庭側には歩道もなく、反対側の歩道に渡るには、前のビルの車庫への入り口と重なるため、ガードレールがあり渡ることができない。バギーを使ったり、複数の子どもがいる保護者は車道の端の歩行に危険を感じており、保護者からの苦情も聞かれる。園への通路にカーブミラーの設置計画があるが、交通事故防止及び抑止に向けた抜本的な方策が必要と考えられる。また、各保育室の玩具は木製の収納棚に整理され毎月1回安全チェックが行われており、子どもが使う頻度により破損等による危険な物についての確認をすることが少ないと考えられることから、さらなる定期的な安全性の保持を検討されたい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

2回目の第三者評価を受けて、昨年度の課題をひとつの目標にし、今年度、できる範囲ではありませんが、一つひとつを大切に進めて参りました。まだまだ、課題とする事柄は多くありますが今年度の評価も踏まえ、さらに丁寧に向き合い、園が充実していくことができるように取り組んでいきたいと思っております。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり